

3. 補修方法

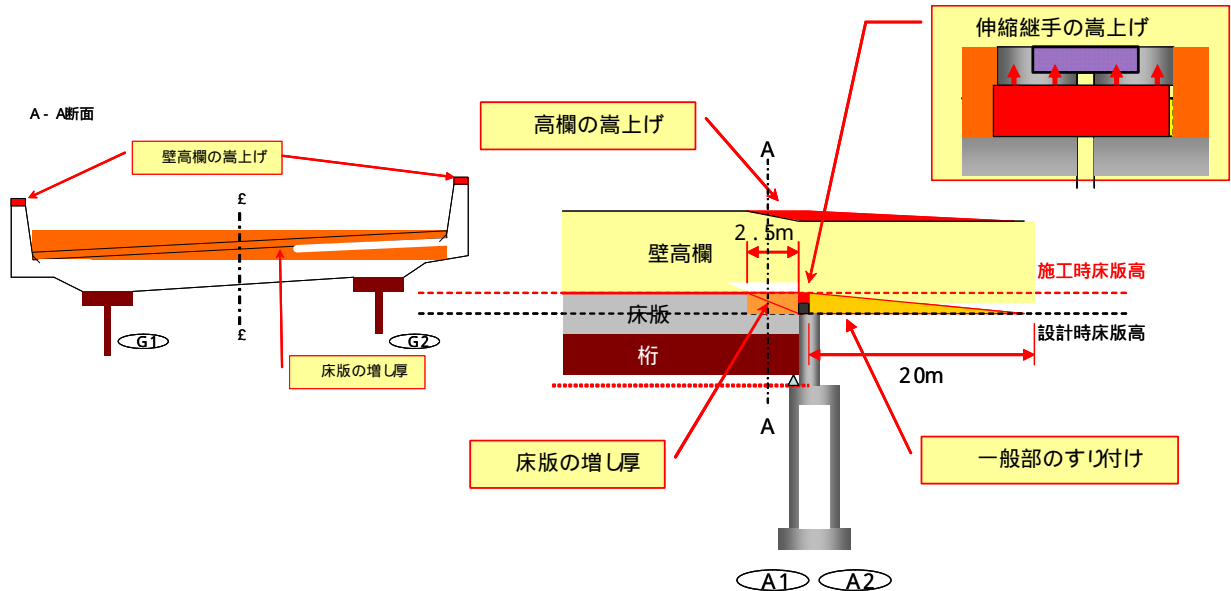
橋梁の安全性には問題がないものの、高く施工された床版高を施工済みの橋台にすり付けたことにより、A1及びA2橋台からそれぞれ2.5mの範囲で床版厚が不足していることから、長期の耐久性を保持するための床版の補修を主体に、関連する箇所も含め以下の補修を請負者に行わせる。

A1・A2橋台部桁端から2.5mの範囲において、規定床版厚確保のため床版の増し厚

A1・A2の伸縮継手の嵩上げ（撤去再設置）

一般部のすり付け

床版増し厚及び一般部のすり付けに伴う、壁高欄高の不足箇所の嵩上げ



(図3)補修概念図